

## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月12日

上場会社名 JMACS株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5817 URL <http://www.jmacs-j.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 銅傳毅 TEL 06-4796-0020  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	1,168	6.0	△24	—	△31	—	△15	—
2019年2月期第1四半期	1,101	△7.7	△70	—	△56	—	△49	—

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 △19百万円 (—%) 2019年2月期第1四半期 △51百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	△3.22	—
2019年2月期第1四半期	△10.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	8,031	4,403	54.8
2019年2月期	7,761	4,470	57.6

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 4,403百万円 2019年2月期 4,470百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,756	17.0	66	—	104	—	71	—	15.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	4,691,555株	2019年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	5,571株	2019年2月期	5,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	4,686,033株	2019年2月期1Q	4,666,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ（連結業績予想などの将来予想情報に関する説明）をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の雇用・企業収益の改善に加え、政府の生産性革命や生産性向上のためのインフラ整備施策、人手不足対応の為の省力化設備投資により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方海外経済は、米中間における貿易摩擦による経済成長の減速懸念や英国のEU離脱問題等、世界経済に与える影響などについては、留意が必要であり、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、1. 無駄なく 2. シンプルに 3. スピード感を持って進める。を掲げ、成長分野への投資を積極的に行い、新製品の開発に注力してまいりました。

また、各事業部との連携を強化し、総力をあげて新製品の開発と積極的な提案型営業に注力してまいりました。

この結果当社グループの経営成績につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,168,133千円(前年同四半期比6.0%増)、営業損失24,112千円(前年同四半期は営業損失70,190千円)、経常損失31,962千円(前年同四半期は経常損失56,817千円)となりましたが、税効果会計によるマイナスの法人税等調整額18,111千円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失15,093千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失49,115千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## 〈電線事業〉

電線事業につきましては、交通信号・制御用ケーブル、通信用ケーブル等の出荷が顕著に増加し、売上高1,105,604千円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント利益29,020千円(前年同四半期はセグメント損失15,207千円)となりました。

## 〈トータルソリューション事業〉

トータルソリューション事業につきましては、受注の増加により、売上高37,414千円(前年同四半期比108.1%増)となり、人件費や開発費用等のコスト増加により、セグメント損失45,492千円(前年同四半期はセグメント損失45,884千円)となりました。

## 〈海外事業〉

海外事業につきましては、電線案件の獲得により、売上高25,113千円(前年同四半期比257.5%増)となり、管理費用等のコスト削減にも尽力いたしましたが、売上増加に伴う販売費用の増加等により、セグメント損失6,551千円(前年同四半期はセグメント損失9,099千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は8,031,333千円となり、前連結会計年度末に比べ270,311千円増加いたしました。その主な要因は、商品及び製品の増加74,076千円、建設仮勘定の増加450,180千円、受取手形及び売掛金の減少176,530千円、電子記録債権の減少52,516千円、原材料及び貯蔵品の減少38,734千円等によるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債残高は3,627,353千円となり、前連結会計年度末に比べ336,729千円増加いたしました。その主な要因は長期借入金の増加450,000千円、退職給付に係る負債の増加23,886千円、支払手形及び買掛金の減少35,027千円、電子記録債務の減少90,722千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少10,625千円等によるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産残高は4,403,979千円となり、前連結会計年度末に比べ66,418千円減少いたしました。その主な要因は利益剰余金の減少61,953千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月12日に発表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	511,541	550,472
受取手形及び売掛金	1,694,471	1,517,941
電子記録債権	274,813	222,296
商品及び製品	307,053	381,130
仕掛品	108,214	119,421
原材料及び貯蔵品	319,950	281,215
その他	40,018	24,637
貸倒引当金	△1,077	△1,112
流動資産合計	3,254,985	3,096,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,011,472	991,726
機械装置及び運搬具(純額)	136,945	128,801
工具、器具及び備品(純額)	15,184	16,058
土地	1,045,837	1,045,837
建設仮勘定	498,730	948,910
その他	5,031	4,749
有形固定資産合計	2,713,202	3,136,083
無形固定資産	6,736	6,098
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,582,313	1,581,946
その他	203,783	211,203
投資その他の資産合計	1,786,097	1,793,149
固定資産合計	4,506,036	4,935,331
資産合計	7,761,022	8,031,333
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,153	463,126
電子記録債務	444,382	353,660
短期借入金	1,200,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	680,000	669,375
未払金	82,725	76,806
未払法人税等	—	4,179
賞与引当金	21,962	52,029
受注損失引当金	2,919	—
その他	76,603	50,413
流動負債合計	3,006,748	2,869,591
固定負債		
長期借入金	—	450,000
退職給付に係る負債	102,119	126,005
役員退職慰労引当金	147,616	147,616
その他	34,140	34,140
固定負債合計	283,876	757,762
負債合計	3,290,624	3,627,353

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,144,352	3,082,398
自己株式	△2,636	△2,659
株主資本合計	4,434,338	4,372,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,016	32,725
為替換算調整勘定	△957	△1,108
その他の包括利益累計額合計	36,058	31,616
純資産合計	4,470,397	4,403,979
負債純資産合計	7,761,022	8,031,333

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	1,101,553	1,168,133
売上原価	892,772	891,041
売上総利益	208,781	277,091
販売費及び一般管理費	278,972	301,203
営業損失(△)	△70,190	△24,112
営業外収益		
受取賃貸料	16,879	16,879
その他	2,008	1,197
営業外収益合計	18,887	18,076
営業外費用		
支払利息	2,143	4,199
賃貸収入原価	2,315	2,271
借入手数料	—	19,256
その他	1,055	200
営業外費用合計	5,514	25,926
経常損失(△)	△56,817	△31,962
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,817	△31,962
法人税、住民税及び事業税	1,319	1,242
法人税等調整額	△9,021	△18,111
法人税等合計	△7,701	△16,868
四半期純損失(△)	△49,115	△15,093
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,115	△15,093

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純損失(△)	△49,115	△15,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,522	△4,291
為替換算調整勘定	△1,210	△150
その他の包括利益合計	△2,732	△4,441
四半期包括利益	△51,847	△19,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,847	△19,535

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 会計上の見積りの変更 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

( 「 『 税効果会計に係る会計基準』 の一部改正 」 の適用 )

「 『 税効果会計に係る会計基準』 の一部改正 」 ( 企業会計基準第28号 2018年 2 月16日 ) を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,076,545	17,983	7,024	1,101,553	—	1,101,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,078	724	—	5,803	△5,803	—
計	1,081,623	18,708	7,024	1,107,357	△5,803	1,101,553
セグメント損失(△)	△15,207	△45,884	△9,099	△70,190	—	△70,190

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,105,604	37,414	25,113	1,168,133	—	1,168,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,957	250	—	2,207	△2,207	—
計	1,107,562	37,664	25,113	1,170,340	△2,207	1,168,133
セグメント利益又は損失 (△)	29,020	△45,492	△6,551	△23,023	△1,088	△24,112

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。